

12月22日
ベルマークで社会貢献
東星渡部建設が川湯小にベルマークを寄贈

東星渡部建設(株) (渡部哲夫代表取締役) は、12月22日、川湯小学校(川島眞澄校長) にベルマークを寄贈しました。あいおいニッセイ同和損保が地域住民や企業と共に行っている社会貢献としてのベルマーク収集に同社が賛同して行ったものです。この日は、同社の宮山幸徳総務課長と、同損保北海道釧路支社の小松将志担当課長が来校。社員の家庭や協力会社などで集めた13,573.7点を寄贈し、同校からは、感謝状が贈られました。贈呈されたベルマークは、ベルマーク協力会社から学校の備品などの購入に役立てられます。

左から宮山課長、澤頭優彩児童会長、小松課長



12月19日
年賀状を書いてみよう！
手紙の書き方体験授業 | 弟子屈小学校

弟子屈小学校(佐野哲哉校長)の2年A組で12月19日、手紙の書き方体験授業が行われました。国語の授業の一環として毎年行われています。講師は日本郵便帯広営業統括本部の佐藤裕明本部長。児童は暑中見舞いや寒中見舞いなどの季節に合わせたさまざまな手紙の種類を学んだほか、自宅の住所や郵便番号とともに年賀状の書き方を学習。地域によって違う郵便番号の仕組みを聞いて「知らなかった!」などと驚きの声が上がっていました。授業の最後には、佐藤さんらの指導を受けながら両親や祖父母宛てに心を込めた年賀状を書きました。

お手本を見ながら挑戦



1月1日
餅まきや川湯ばやしなどで新年を祝う
道の駅でお正月イベント

道の駅摩周温泉で1月1日、恒例の新春感謝祭が行われました。新春感謝祭は、道の駅のリニューアルオープン後から毎年行われているもので、今年で7回目。正面玄関前で川湯ばやし披露されたほか、正面広場では、くじ入りの餅まき大会が行われ、多くの方でにぎわいました。館内では、直売会特製の福袋が販売されたほか、地産の牛乳やお汁粉がふるまわれ、来場者の皆さんは、お正月気分を満喫していました。

たくさんの方がつめかけた餅まき



12月26日
町の教育方針を協議
第1回総合教育会議を開催

町総合教育会議の本年度第1回目の会議が12月26日に役場委員会室で開催されました。議案第1号で新教育大綱の策定について事務局から、また、議案第2号で平成30年度の教育関係重点事業および予算について小林教育長から説明がありました。徳永町長は「ご要望いただいた子どもたちの健全な育成に関することやさまざまな活動への支援など、工夫してできるだけ新年度予算へ盛り込めるよう検討していきたい」と話しました。3月に次回の会議を開催し新教育大綱を協議します。会議の結果は町公式ウェブサイトでも報告されます。

よりよい学習環境のために



1月22日
選ばれるまちづくりのために
町内等郵便局との包括的連携協定

町と町内等郵便局との包括的連携協定の調印式が1月22日、役場委員会室で行われました。郵便局との連携協定はこれまで「廃棄物の不法投棄情報の提供」「道路状況の提供」「高齢者等の見守り」について結ばれていましたが、今回新たに「安全で安心な暮らしの実現」「観光・食などの地域経済活性化」「未来を担う子どもたちの育成」などを加えて包括的な連携として締結されました。調印式は町内などの各郵便局長と、役場関係各課の課長が集まり行われ、弟子屈郵便局の藤原局長と徳永町長が調印を行いました。

安心・安全な地域社会を目指す



1月18・19日
牧草改良による効果などを研究
4Hクラブがプロジェクト発表全道で最優秀賞

農業青年で組織する弟子屈町4Hクラブ(郷司幸広会長)の皆さんが、1月18、19日に札幌市で開催された北海道青年農業者会議でプロジェクトを発表し、畜産経営部門で見事最優秀賞を受賞し、全国大会への出場が決まりました。7年連続の入賞となり、北海道でもそのレベルの高さを示しています。発表では、「ペレプロ〜シーズン3〜」と題し、4年目となるプロジェクトの経過を発表。糖の含有率が高く発酵品質も向上させるペレニアルライグラス(ペレ)の給与試験や経済的コスト面での効果を調査、検証しました。

賞状を手にし、発表者の元山常貴さん



12月1日、1月10日
今後の事業について協議
第2、3回WG会議を開催

南弟子屈地域活性化協議会が12月1日に第2回、1月10日に第3回のWG(ワーキンググループ)会議を旧昭栄小学校で開催しました。同協議会では「人が集まり集う町の玄関口 南弟子屈」を将来ビジョンとし、南弟子屈地区の活性化を目指して活動を行っています。会議ではライダーハウス事業、レンタルスペース事業、酪農体験事業、飲食事業の各4つのプロジェクトについて代表者から進捗が報告され、来年度の方向性について全体で協議を行いました。

各事業についてさまざまな意見が



カメラスケッチ
広報が行く!!

このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。

まちづくり政策課広報統計係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)



12月14日
町の治安向上に尽力
高田中さんが暴力追放栄誉銀章を報告

11月28日に東京都明治記念館で行われた全国暴力追放運動中央大会表彰で、高田中さんが暴力追放栄誉銀章を受賞し、12月14日に役場応接室で徳永町長への報告を行いました。同章を受賞したのは、道内では高田さんを含めて2人のみです。高田さんは昭和61年に町暴力追放運動推進協議会を設立し、長年にわたり硫黄山など町内の観光地での暴力追放運動に尽力。暴力団の資金源を断ち、観光地の浄化に大きく貢献してきました。平成14年には同会長となり、現在に至るまで精力的に活動を続けています。

表彰状を手にする高田さん



12月12日
悲惨な交通事故をなくそう
平成29年度 弟子屈町交通安全大会

町交通安全運動推進協議会(会長:徳永町長)と町交通安全協会(村岡幸雄会長)による平成29年度 弟子屈町交通安全大会が12月12日、町公民館で行われました。交通事故被害者への黙とうの後、町交通安全運動推進協議会表彰と優良運転者表彰で合わせて23人の皆さんが表彰されたほか、弟子屈警察署の長原志郎地域交通課長による「交通事故防止対策について」の講演などが行われました。来賓の弟子屈警察署 佐藤隆幸所長は、あいさつで道・町内の死亡事故数に触れ、安心・安全な町を目指すと話しました。

今後も交通安全を心がけて



12月19日
新しい就農者を激励
平成29年 新規就農者準備金交付式

平成29年度に町内で新たに就農した農家に対し、町新規就農者誘致特別措置条例に基づいた準備金の交付式が12月19日、町応接室で行われ、町長から目録が手渡されました。交付を受けたのは辻隆二さん(酪農、屈斜路)、合同会社チューリップハウス農園摩周(施設・路地野菜、屈斜路)の小洞康直朗さん、佐久間佳樹さん。小洞さんは町長との懇談で「後継者のいない農家さんから技術を受けついで繋いでいきたい。新規の就農者が手厚いサポートを受けられることを自分たちが示して、就農を考える人に発信していきたい」と話しました。

新規就農者の前途を祝して



12月16日
この木なんの木？
P V 活動・川湯園地樹木看板設置

川湯エココミュニティセンターを拠点に自然保護活動などを行う摩周・屈斜路パークボランティア連絡会(金井秀明会長)の皆さんが12月16日、川湯園地内の樹木に看板を設置する作業を行いました。川湯園地を利用する地域住民や観光客に樹木を知ってもらうためのもので、昨年度から準備。当日は積雪があったものの、スノーシューなどを利用して手際よく進められ、道路や散策路沿いの計13本の樹木に設置しました。参加者は「川湯園地を歩ききっかけの一つとなれば」と話していました。

一本一本ていねいに作業

